

男子校

高校のみ募集

慶應義塾高等学校

住所 〒223-8524 横浜市港北区日吉4-1-2

TEL 045-566-1381 FAX 045-566-1378

URL <https://www.hs.keio.ac.jp>



慶應義塾高等学校は、慶應義塾第一高等学校、第二高等学校の名称で1948(昭和23)年に設立されました。翌年に両校を統合して慶應義塾高等学校と改称し、その年の秋、米軍に接収されていた日吉の旧大学予科校舎(第一校舎)が返還された際に移転し、現在に至ります。

生徒総数約2,200名、各学年18クラスからなる男子校で、人材の豊かさや個性の多様性が特徴です。日本で最も長い歴史を持つ総合学塾の一つである慶應義塾の創立者・福澤諭吉の精神に則り、独立自尊の気風に富み、自主性と気品を重んじ、将来「全社会的先導者」となる人材の育成を教育の目的としています。

それを踏まえ、開設70年目となる2018年からは「日吉協育モデル—正統と異端の協育—」と名付けた新しい教育を実践しています。一貫教育の強みを生かして慶應義塾大学内外の組織や卒業生などの協力のもと、生徒が自らの関心や知的好奇心を広げ、深める機会を提供するものです。多くの「協育プログラム」の中から、生徒自身が主体的に選び、それに参加することで「協育」の実践をはかります。

また、グローバルに活躍できるリーダーを育成するために、国際交流の拡大や多文化理解の深化、国際感覚の涵養と修得を目指すものとして、海外の提携校との留学制度や、海外からの留学生との交流をはかるプログラムも実施しています。

MESSAGE

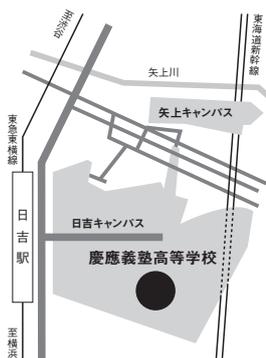
校長先生から

塾高は夢を見つめられる学校です。自由でおおらかな気風の中で、自分のやりたいことに存分に向き合うことができるからです。私たちはいま「日吉協育モデル／正統と異端の協育」と名付けた独自の教育を展開しています。多種多様なプログラムを通して、柔らかな君の知性と感性が刺激され、新しい自分に出会えるでしょう。

在校生から皆さんへ…

広大な日吉の自然に囲まれ、校門もない開かれた自由な学校です。約80の部活動や歴史的遺産である旧海軍連合艦隊司令部の地下壕、プラネタリウムなど他にはない環境・施設があり、自分の興味あることをとことん追究できます。ここは高校3年間を濃密に過ごせる学び舎です。

ACCESS



●東急東横線・日黒線・新横浜線、横浜市営地下鉄グリーンライン「日吉」駅下車(徒歩5分)

※東急東横線の特急とフライナー特急は日吉駅に停車しません。

※渋谷～日吉：25分(急行約20分)

※横浜～日吉：20分(急行約15分)

※新横浜～日吉：6分

環境

高校の施設は、慶應義塾大学日吉キャンパス内にあり、生徒は大学の体育施設や図書館を利用することもできます。2018年完成の日吉協育棟には、図書室、ホール、トレーニング室があります。

特色ある授業

高大一貫講座：前期は経済学部で経済学を学び、後期は大学生とともに商学部の講義を受けます。
第二外国語：ドイツ語、フランス語、中国語から選択します。

修学旅行・研修旅行

クラス単位の修学旅行はなく、期間も費用も様々な国内外の20程度のコースの中から自由に選択できる「選択旅行」を実施しています。

部活動

体育系、文化系あわせて約80のクラブがあり、体育系では、全国レベルのクラブが数多く活躍しています。文化系でも好成绩を収めているクラブがあります。多くのクラブが大学と連携し活動しています。

体験学習・総合学習

卒業研究：教員が提示する約50の講座の中から、自らの知的好奇心に合わせて講座を選び、3年次に卒業論文を執筆します。アカデミックライティングの基礎も学びます。

進路指導・キャリア教育

一貫教育制度に基づいて慶應義塾大学の各学部に推薦されています。協育プログラムでは、卒業生が経営する会社でのインターンシップや、進路に関する講演会があります。

行事ピックアップ

日吉祭：10月末に2日間にわたって行われる生徒主体で企画・運営する文化祭です。文化系クラブの活動発表や有志団体の出し物、ステージ企画などで大いに盛り上がります。

グローバル教育

一貫教育校派遣留学制度(1年間)、中期派遣留学プログラム(1学期間)、短期交換留学プログラム(2週間)の3種類の制度があり、英米の名門校に留学することができます。

学校ニュース・トピックス

2024年3月にリニューアルした学校公式ホームページ(<https://www.hs.keio.ac.jp/>)にて配信しています。

INFORMATION

【学校説明会】

10月5日(土) 本校
※事前予約必要。詳細はHPをご覧ください。

【文化祭】(日吉祭)

1日目 10月26日(土)
2日目 10月27日(日)
一般公開(予定)
※詳細はHPをご覧ください。